

2019年9月27日

各位

 新生企業投資株式会社
 代表取締役社長 松原 一平

日本インパクト投資 2 号ファンドによるユニファ株式会社への投資実行について

新生企業投資株式会社の子会社である新生インパクト投資株式会社(東京都中央区、代表取締役 黄 春梅、高塚 清佳)が運営する日本インパクト投資 2 号ファンド(以下、「本ファンド」)は、ユニファ株式会社(愛知県名古屋市、代表取締役 CEO 土岐 泰之)が実施する第三者割当増資を引き受けました。なお、ユニファに対しては、新生企業投資の運営する日本インパクト投資 1 号ファンド(以下、「1 号ファンド」)が、2017 年 6 月に出資を行っています。

ユニファは、「“家族×テクノロジー”で世界中の家族コミュニケーションを豊かにする」という思いを持って創業し、現在は(1)乳幼児の安全な午睡(お昼寝)を見守る医療機器によるヘルスケアサービス「ルクミー午睡チェック」、(2)保育施設における子どもの自然な表情や成長を記録し、保護者がオンライン上で購入することができるインターネット写真／動画提供サービス「ルクミーフォト」、(3)検温・記録が数秒でできるスマート体温計サービス「ルクミー体温計」などのサービスを通じて、保育現場に対して IoT や AI の力を活用したソリューションを提供するスタートアップです。今後サービスのラインナップを増やす予定であり、テクノロジーを活用することで保育関係者の業務負担軽減や保育の品質を向上させる「スマート保育園」を実現し、事業を通じて保育に関する社会課題の解決へ寄与することを目指しています。

新生企業投資は、国内の子育て関連事業へのインパクト投資^{※1}を行うため、業界に先駆けて 2017 年 1 月に新生銀行とともに 1 号ファンドを立ち上げました。また、2019 年 6 月にはその後継ファンドとして、新生インパクト投資および一般財団法人社会的投資推進財団(東京都港区、代表理事 青柳 光昌)が共同運営する本ファンドを設立し、投資対象を「子育て・介護・新しい働き方関連事業」へ広げ、投資先事業者の成長支援や社会的インパクトの拡大を図っていきます。

ユニファについては、1 号ファンドによる出資以降、「社会的インパクト評価」に関わるパートナーとして、社会的インパクトを評価するためのロジックモデルを同社経営陣と共同で構築しながら、ユニファの事業が社会に与える効果を測定し、成長の支援を行ってきました。新生企業投資と新生インパクト投資は、引き続きユニファの社会的インパクト・マネジメント^{※2}の仕組み作りをサポートしていくとともに、新生銀行グループが中期経営戦略で掲げる「価値共創による成長追求」のもと、引き続きさまざまなパートナーとインパクト投資のエコシステム構築を積極的に推進していきます。

※1 経済的なリターンと社会的なリターンの両立を目指す投資。

※2 社会的インパクト評価を経営の PDCA サイクルに取り込み、マネジメントに活かすこと。

【ユニファ株式会社の概要】

名 称	: ユニファ株式会社
設 立 日	: 2013 年 5 月 29 日
代 表 者	: 代表取締役 CEO 土岐 泰之
本社所在地	: 愛知県名古屋市中区丸の内 2-16-3
事 業 内 容	: 「スマート保育園」を実現する、IoT 及び AI を活用した保育現場支援のトータルソリューションの提供
資 本 金	: 44 億 1,577 万円(第三者割当増資後、資本準備金含む)

【本ファンドの概要】

名 称	: 日本インパクト投資 2 号投資事業有限責任組合
設 立 日	: 2019 年 6 月 28 日
無限責任組合員(GP)	: 日本インパクト投資 2 号有限責任事業組合
GP 構成員	: 新生インパクト投資株式会社 一般財団法人社会的投資推進財団
期 間	: 投資期間 5 年、組合期間 10 年
投 資 対 象	: 子育て・介護・新しい働き方関連事業を営むアーリーからレイトーステージ企業

以 上

お問い合わせ先
新生銀行 グループ IR・広報部
幡野、紀、風間
Tel. 03-6880-8303